

農業塾第4講 果樹栽培基礎(現地視察)



農業塾第4講は果樹の現地視察を行いました。JAふくおか八女は果樹もたいへん盛んです。

はじめに、すももの現地にて指導員より栽培のポイントの説明を受けました。すももは比較的栽培しやすく初心者向きだそうです。しかし、1品種では交配をしないので栽培する際は2品種を混植する必要があります。



つづいてぶどうの現地に移動。ぶどうの栽培は、つるを伸ばし実をならせる為、棚が必要になります。また、日照量が多く排水性がよい所がいいそうです。ぶどうを栽培するうえで、重要なのは房作り。通常60粒ほど果粒がなりますが30粒程度に摘粒し房作りをします。あのきれいなブドウの形は、生産者の技術の賜物ですね。



最後にももの現地に移動。収穫が近いのため、とてもいい香りがしました。ももの栽培は比較的簡単で、一般家庭でも植えてある方も多いと思いますが、実が落ちる事が多いそうです。大きなおいしい実をならせるためには、「一本の木につぼみが10,000個程度つくが、摘蕾・摘花と3回の摘果をすることで500個程度に減らし、一つひとつに栄養を集中させることが大事です。」とのこと。

就農支援センターへ戻り、...

梅やブルーベリーの講義を行いました。

梅については、栽培が容易で初心者にも取り組みやすいのでぜひ挑戦し、梅酒や梅ジュースを作ってみてはいかがでしょうか。ブルーベリーについては、鉢植え栽培も出来るため、畑が無い方でも簡単に栽培できますよ。